

82. 頭頸部癌患者が放射線療法・化学療法により口腔粘膜障害出現に対する看護師の口腔ケアにおける実態調査

研究の概要

当病院では近年、頭頸部癌の診断にて放射線治療・化学療法を受けるために入院する患者が年々増加傾向にあります。放射線・化学療法を受けた患者の8割以上に副作用として口腔粘膜障害が出現しています。看護師の統一した口腔内観察、口腔ケア指導により今後、頭頸部癌で放射線治療・化学療法を受ける患者の口腔ケアの充実につなげていきたいと考えています。

研究の目的と方法

2019年1月1日～2019年11月30日までに入院した頭頸部癌患者の口腔粘膜障害、看護師の口腔内観察、口腔ケア指導について、電子カルテから調査し、実態を明らかにします。対象症例数：5件。

本研究の参加について

本研究は、電子カルテデータの分析であるため、患者様へ不利益が生じることはありません。また、研究時に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に取り扱いたします。その他本研究に関してご質問がございます際には、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

患者様の年齢、性別、治療内容、治療実施期間、口腔内観察、口腔ケア指導に関する記録。口腔粘膜障害に関する記録、OHAT 評価表について調査します。データは過去のカルテから調べるだけですので患者様の氏名・住所・生年月日など個人を特定する情報は調査しません。対象症例数：5件。

調査期間

研究対象期間：2019年1月1日～2019年11月30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～2021年12月31日

研究成果の発表

第18回国立病院看護研究学会で発表する予定です。

研究代表者

看護部 岩崎天弓子

当院における研究責任者

看護師長 後藤みゆき

問い合わせ先

看護部 岩崎天弓子

TEL: 096-353-6501